

第 29 回浦添工業高校デザイン卒業作品展

——科長 金城 満

毎年浦添美術館の全フロアーを使用しての卒業作品展も終え生徒職員ホッとしているところです。今年度の特徴は、中間発表や最終審査会等きびしい過程を経て、充実した作品が多かった点が評価できました。また、現教育課程最後ということもあり作品数の多さと、入場者が 1200 名超えと多くの方々に見て頂いた点です。感謝いたします。またこの作品展は現 2、1 年生たちにも多くの刺激を与えられたと確信し、来年度も期待が持てます。



OKINAWA もよう(製図グループ制作)

デザイン科卒業生代表

新垣怜奈 呉屋遥

この 3 年間を通して、たくさんの事を学ぶことができました。

デザインの事はもちろん、一つ一つのことにに対して最後までやり抜く事や、皆と協力して頑張ることの大切さを学びました。

特に卒業作品展は、とても大きな思い出になりました。

課題に追われて大変でしたが、終わってみると、とても充実していて達成感を得ることができました。

卒業はあっという間で、寂しいですが、これからも夢を叶えるために頑張っていきたいと思います！





毎年浦添市美術館で展示しています。



初日は全員が参加し、テープカットを行います。



受付は卒展の顔。デザイン科3年生が全員で当番します。



エントランスを紙のウエディングドレスが飾ります。



大きな壺も生徒作品です。タイトルは「迫力」



講堂ではマルチメディア班が作った映像を上映しています。



入り口はスクリーン印刷班各ブランドのTシャツが並びます。



木工班の制作した家具。



雑誌ヴェックスの役割担当のポスター



丸めてたためるイス、はニュースでも取り上げられました。



WEB サイトも制作しました。



タイムス展で最優秀賞をとった「猫」



成人式を迎えた卒業生が見に来てくれました。



陶芸作品



スクリーン班のTシャツ



木工作品